



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 コード番号 5406 URL <http://www.kobelco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 廣士
 問合せ先責任者 (役職名) 秘書広報部 広報担当部長 (氏名) 安田 幸展
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 大 名

TEL 03-5739-6010

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,247,716	△11.5	6,449	△90.7	△16,241	—	△22,693	—
24年3月期第3四半期	1,409,556	4.0	69,125	△31.3	50,160	△36.4	12,598	△73.3

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 △17,810百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 6,040百万円 (△87.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△7.56	—
24年3月期第3四半期	4.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,162,752	545,201	22.9
24年3月期	2,159,512	571,258	23.9

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 494,392百万円 24年3月期 515,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1.00	—	0.00	1.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,690,000	△9.4	10,000	△83.5	△25,000	—	△30,000	—	△9.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	3,115,061,100 株	24年3月期	3,115,061,100 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	114,166,677 株	24年3月期	114,135,266 株
----------	---------------	--------	---------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	3,000,921,663 株	24年3月期3Q	3,000,957,404 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、震災からの復興に伴う需要の増加などを背景に、緩やかながら回復基調をたどりましたが、エコカー補助金の終了などもあり、徐々に回復のペースは鈍化しました。海外では、欧州における金融不安、中国での景気拡大鈍化、米国での景気回復のペースの減速傾向が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ圧延品の販売数量は、国内自動車向けの需要が第2四半期までは堅調に推移したものの、鋼材海外市況の低迷や円高の影響などにより輸出環境が悪化したことから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、震災からの復興に伴い需要が堅調であった国内や、東南アジアにおいては増加したものの、主力市場である中国では大きく減少し、全体としては、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1,618億円減収の1兆2,477億円となり、営業利益は、前年同期に比べ626億円減益の64億円、経常損益は、前年同期に比べ664億円減益の162億円の損失となりました。また、四半期純損益は、前年同期に比べ352億円減益の226億円の損失となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は以下のとおりであります。

鉄鋼事業部門

鋼材の販売数量は、第2四半期までは堅調に推移した国内自動車向けの需要が、第3四半期以降はエコカー補助金の終了や中国関連ビジネスの情勢悪化の影響により減速傾向となったことに加え、造船向けの需要が低迷したことや、海外市況の低迷、円高の影響により輸出環境が悪化したことから、前年同期を下回りました。また、販売価格は、海外市況の低迷や主原料価格が値下がりした影響などにより、前年同期を下回りました。

鋳鍛鋼品の売上高は、造船向けの需要が低迷したことや、販売価格が下落した影響などにより、前年同期を下回りました。また、チタン製品の売上高も、海外需要の減少により、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12.4%減の5,625億円となり、経常損益は、前年同期に比べ407億円減益の370億円の損失となりました。

溶接事業部門

溶接材料の販売数量は、東南アジアにおける需要は堅調に推移したものの、国内造船向けの需要が減少したことなどにより、前年同期並となりました。また、溶接システムの売上高は、中国での景気拡大鈍化の影響などにより、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.0%減の616億円となり、経常利益は、前年同期に比べ14億円減益の10億円となりました。

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品の販売数量は、国内自動車向けの需要が第2四半期までは堅調に推移したものの、IT関連分野の需要低迷が継続したことなどから、前年同期を下回りました。アルミ鋳鍛造品の売上高についても、液晶・半導体製造装置関連の需要低迷が継続したことから、前年同期を下回りました。

銅圧延品の販売数量は、銅板条は半導体向けの需要が低迷し、銅管も欧州向けエアコン需要が低迷したことなどから、前年同期を下回りました。

以上の状況に加え、販売価格に転嫁される地金価格が下落したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比11.4%減の1,990億円となり、経常利益は、在庫評価影響の悪化もあり、前年同期に比べ47億円減益の32億円となりました。

機械事業部門

円高を背景に海外メーカーとの競争が激化し、受注環境が悪化したことなどから、当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比14.8%減の839億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、1,723億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期並の1,147億円となりましたが、経常利益は、前年同期に比べ8億円減益の79億円となりました。

資源・エンジニアリング事業部門

当第3四半期連結累計期間の受注高は、中東向け還元鉄プラント関連の案件を受注した前年同期と比べると4.7%減の225億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、675億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比37.3%減の271億円となり、経常損益は、前年同期に比べ45億円減益の10億円の損失となりました。

神鋼環境ソリューション

当第3四半期連結累計期間の受注高は、廃棄物処理関連事業においては、大型案件を受注したものの、水処理関連事業、化学・食品機械関連事業においては、需要が減少したことなどから、前年同期と比べると10.3%減の589億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、544億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、官需水処理分野や化学・食品機械関連事業での減少などにより、前年同期比3.0%減の471億円となり、経常利益は、案件構成変化や第2四半期までにおける一部案件の採算悪化などにより、前年同期に比べ25億円減益の7億円となりました。

コベルコ建機

油圧ショベルの販売台数は、震災からの復興に伴い需要が堅調であった国内や、東南アジアにおいては増加したものの、主力市場である中国では、政府による景気刺激策が実施されたものの、需要回復には至らず大きく減少し、全体としては、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比14.1%減の2,075億円となり、経常利益は、前年同期に比べ127億円減益の74億円となりました。

コベルコクレーン

震災からの復興に伴い国内需要が増加したことに加え、北米、東南アジアを中心とした海外需要についても回復基調に転じたことから、販売台数は、前年同期を上回りました。

一方、販売機種構成の変化などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5.4%減の327億円となり、経常損益は、前年同期に比べ13億円減益の12億円の損失となりました。

その他

神鋼不動産(株)では、分譲事業において引渡戸数が減少したものの、賃貸事業は堅調に推移しました。(株)コベルコ科研では、総じて需要は回復基調にあるものの、試験研究事業においては、エレクトロニクス業界向けの需要が低迷しました。

その他の事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5.2%減の444億円となり、経常利益は、前年同期に比べ2億円減益の37億円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

前回(平成24年10月30日)業績予想時と比較すると、鋼材の販売構成の悪化や、中国における油圧ショベルの販売台数が想定を下回ったことなどから、通期の売上高の予想を、下方修正しております。

一方、経常損益については、売上減の影響があるものの、機械事業部門を中心にコストの改善が見込まれることなどから、前回予想を据え置いております。

なお、当期純損益については、第3四半期に、投資有価証券評価損の一部につき、戻入が生じたことを踏まえ、前回予想を上方修正しております。

(当期の配当について)

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、見送ることといたしました。また、期末配当につきましても、見送る方針を決議いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が949百万円減少し、営業利益は723百万円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は723百万円それぞれ減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,378	105,645
受取手形及び売掛金	313,074	281,490
商品及び製品	160,972	158,727
仕掛品	127,017	136,234
原材料及び貯蔵品	120,555	130,560
その他	126,826	141,627
貸倒引当金	△430	△1,864
流動資産合計	943,394	952,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	283,792	285,672
機械装置及び運搬具（純額）	376,518	373,437
土地	205,299	203,290
その他（純額）	39,227	34,485
有形固定資産合計	904,837	896,886
無形固定資産	20,494	19,599
投資その他の資産		
投資有価証券	179,671	184,538
その他	113,791	111,892
貸倒引当金	△2,677	△2,585
投資その他の資産合計	290,785	293,846
固定資産合計	1,216,117	1,210,332
資産合計	2,159,512	2,162,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	447,316	381,705
短期借入金	204,719	306,090
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	35,176	55,000
未払法人税等	7,204	3,107
引当金	38,385	23,628
その他	148,769	132,971
流動負債合計	881,571	912,503
固定負債		
社債	172,172	177,000
長期借入金	394,579	384,697
退職給付引当金	52,587	53,242
その他の引当金	2,216	2,050
その他	85,126	88,057
固定負債合計	706,682	705,048
負債合計	1,588,254	1,617,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	233,313	233,313
資本剰余金	83,125	83,125
利益剰余金	280,582	257,770
自己株式	△51,627	△51,614
株主資本合計	545,393	522,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,020	13,988
繰延ヘッジ損益	△1,013	△985
土地再評価差額金	△4,140	△4,140
為替換算調整勘定	△37,579	△37,065
その他の包括利益累計額合計	△29,713	△28,202
少数株主持分	55,578	50,808
純資産合計	571,258	545,201
負債純資産合計	2,159,512	2,162,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,409,556	1,247,716
売上原価	1,216,278	1,118,902
売上総利益	193,277	128,814
販売費及び一般管理費	124,151	122,365
営業利益	69,125	6,449
営業外収益		
受取利息	2,924	3,215
受取配当金	3,025	2,196
業務分担金	4,435	4,381
持分法による投資利益	4,555	2,149
その他	13,186	7,205
営業外収益合計	28,128	19,148
営業外費用		
支払利息	14,651	15,276
出向者等労務費	11,508	10,520
その他	20,932	16,043
営業外費用合計	47,093	41,839
経常利益又は経常損失(△)	50,160	△16,241
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,922
特別利益合計	—	1,922
特別損失		
投資有価証券評価損	13,873	3,672
減損損失	—	1,000
特別損失合計	13,873	4,673
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	36,287	△18,992
法人税、住民税及び事業税	11,485	6,873
法人税等調整額	1,088	△6,013
法人税等合計	12,574	859
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	23,712	△19,852
少数株主利益	11,114	2,841
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,598	△22,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	23,712	△19,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,910	981
繰延ヘッジ損益	△2,544	108
土地再評価差額金	651	—
為替換算調整勘定	△7,017	1,428
持分法適用会社に対する持分相当額	148	△476
その他の包括利益合計	△17,672	2,041
四半期包括利益	6,040	△17,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,865	△21,182
少数株主に係る四半期包括利益	8,905	3,372

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。